

議事概要記録

開催日時	令和4年4月2日(土) 15:00~17:00	開催場所	和歌山ろうさい病院 3階 会議室
会議種別	令和4年度 第1回理事会	議長	神藤 洋次
		書記	久保 光史
出席者 <敬称略>	参加：田中 規仁、神藤 洋次、田原 靖子、栗林 伴有、丸澤 佳子、久保 光史、 秋田 豊和、中尾 光孝、葛原 和紀、森下 陽子、大前 嘉良、谷本 智、 森井 眞治、藺田 豊、脇村 小津江、大石 博晃、竹中 正人 計17名		
欠席者 <敬称略>	山本 須美子、橋本 安貴子	オブザーバー	山中 拓哉、藤谷 泰明
次第			
議事概要	報告事項 1. 会長報告 2. 令和3年度第6回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ 会誌編集 ⑥ ホームページ ⑦ 会報 ⑧ 月例行事予定表 7. 連盟 8. 第41回和歌山県医学検査学会 9. 第62回近畿支部学会 10. その他 審議事項 ・ 日当支払い条件に関する細則 旅費規程改定について ・ 令和4年度定時総会議案書確認 ・ 議案書への永年勤続表彰者名および70周年事業の割愛について ・ 会誌和臨技への一部賛助会員広告掲載漏れへの対応について		
決議事項 及び 継続事項	開催にあたり田中会長より挨拶。 コロナ流行に伴い、2年間ほぼWeb対応となり任期終盤にて初めて対面での理事会が開催できたことを嬉しく思います。ただ新たにBA2株の流行も報告され決して楽観視できる状況ではありませんが、来年度・再来年度事業運営ならびに和臨技事業を盛り上げていくために、役員の皆様引き続きご協力の程よろしくお願い致します。		

報告事項

1. 会長報告

日臨技・近畿支部・和臨技関連について以下のとおり報告あり。
日臨技関係

1月15日 日臨技理事会 Web
1月18日 医療関連サービス衛生検査所業務調査指導員の推薦
2月9日 3/13タスク・シフト/シェア講習会中止決定
2月16日 第68回臨床検査技師国家試験問題に関する疑義メール
3月5日 近畿支部幹事会Web
3月5日 地域ニューリーダー育成研修会（第7回）開催Web
3月16日 第71回日本医学検査学会事前登録促進要請大臨技
3月26日 日臨技理事会 Web

和臨技関係

1月28日 和歌山県精度管理専門委員の推薦
2月7日 令和3年度和歌山県医療従事者功労者賞 県庁正庁

渉外関係

1月25日 令和3年度和歌山県災害医療従事者研修会 Web
2月2日 和歌山県立医科大学薬学部太田学部長と面談
和歌山県立医科大学薬学部
3月14日 第27回和歌山県病院協会学術大会演題発表者募集 病院協会
3月30日 令和3年度和歌山県災害医療対策会議 県災害医療調整班

その他（詳細は別紙資料参照）

●永年職務精励賞の表彰該当者名簿の取り扱いについて

・例年永年職務精励賞表彰者名簿を各都道府県技師会へ提供していたが個人情報保護の観点から本年度より名簿作成中止が決定された。
→これに伴い、和臨技総会議案書への表彰者名簿掲載について審議事項にて審議。

●タスク・シフト/シェアに係る厚生労働大臣指定講習会への追加対応について

3月26日より以下の対応を追加する

謝金相当：前日準備8名以内×3,341円＋実務員1名以内×5,568円

1、前日の準備に対する対応

- 2、実務委員の適正配置について
- 3、団体申込等への対応
- 4、成分採血等の動画視聴について
- 5、肛門機能検査・内視鏡生検の指導者の拡大について
- 6、自然災害等(積雪・大雨・台風・地震等)における中止の判断について
- 7、新型コロナウイルス蔓延時の開催見送りの判断について
- 8、使用備品等の見直しについて
- 9、精算可能な消耗品について

2. 令和3年度第6回常務理事会報告

詳細は別紙議事録参照

- ・日当支払い条件細則変更については、審議事項にて審議

→藤谷新監事より、議事録内タスク・シフト/シェア研修会の曜日について質問あり。正しくは**2022年6月26日(日)**

3. 事務局報告

1月27日 和歌山県精度管理専門委員の推薦について

山本 須美子理事 継続

和歌山県

2月17日「令和3年度和歌山県臨床検査技師会

臨床検査精度管理調査の報告」

和歌山県

和歌山県医師会

和歌山県病院協会

2月28日「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2022 わかやま」

後援名義について

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2022

わかやま実行委員会

3月2日 公立大学法人和歌山県立医科大学医学振興会記念助成事業申請

公立大学法人和歌山県立医科大学

3月14日 令和3年度和歌山県災害医療対策会議

和歌山県

以上について報告。

神藤副会長より、精度管理後援名義の和歌山県から今年度精度管理の参加施設数に関する問い合わせがあったが対応はどうか？

→中尾精度管理委員長にも確認の上、和歌山県へ報告済み

大前理事より、和歌山県災害医療対策会議に参加したが、運営要綱内に

和臨技の団体名が掲載されていなかったが問題はないでしょうか。

(臨床工学会や栄養士の記載もない)

→改めて、和歌山県担当者へ確認

4. 学術部報告

栗林学術部長より報告

●表彰審査報告

【会長賞】

2題の論文投稿があったが、審議の結果本年度の会長賞該当論文は無し
の決定となった。

【学術奨励賞】

日本赤十字社和歌山医療センター 検査部 芝山 晃栄 技師
第41回和歌山県医学検査学会発表
「閉塞性動脈疾患におけるSRPPの評価」

【新人賞】

ひだか病院 臨床検査科 赤松 花音 技師
第41回和歌山県医学検査学会発表
「*Vibrio alginolyticus* 外耳道感染症に2度罹患した1例」

●第71回日本医学検査学会 座長推薦報告

免疫血清分野 くしもと町立病院 亀井 聡

血液分野 紀南病院 小山 明日美

遺伝子分野 和歌山県立医科大学附属病院 木下 勇一

管理分野 日本赤十字社和歌山医療センター 栗林 伴有

免疫血清分野 済生会和歌山病院 久保 光史

●令和4年度和臨技オリエンテーション担当者報告

○学術活動について 栗林学術部長

○学術部ミニレクチャー 司会：栗林学術部長

①生物化学分析班：「臨床化学のデータについて」

和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部 平康 雄大 技師

②病理細胞検査班：「病理検査、細胞検査と認定資格」

関西医療大学 鍵弥 朋子 技師

●令和4年度和臨技学術部担当者報告（別紙名簿参照）

●第7回 地域ニューリーダー育成研修会参加報告

開催日：令和4年3月5日 Web開催（詳細別紙参照）

参加者：神藤 洋次副会長 栗林 伴有学術部長

●令和3年度班長会議報告

開催日：令和4年1月29日 Web開催（詳細別紙参照）

○予算について

- ・令和4年度予算申請について報告

次年度から実務委員の行動費として4時間以上3,000円の規定があるが、2022/1/15理事会で2時間以上1,500円を支給することが承認され令和4年度から改定されることを伝えた。

○学術活動について

- ・令和3年度勉強開催実績について報告

今年度勉強会 計20回

- ・日臨技推進事業助成金について報告

助成件数20件に対し20件実施完了できた。

20件×3万=60万 平均参加者25人×20件×500円=25万円

合算で和臨技生涯教育補助金収入はおよそ85万円

○年間行事について

- ・令和4年度和臨技オリエンテーション担当班

令和4年度は生物化学・病理細胞検査班に決定した。

- ・令和4年度学術部一泊合同研修会

延期または中止について話し合いをした結果、コロナ禍において先が見えないこともあり、他施設とのコミュニケーションを目的とした開催は出来ないと判断した。中止の判断を次回理事会において報告し意見を伺うこととした。

- ・第62回日臨技近畿支部医学検査学会 福井県開催 10月～11月

令和3（福井県）→令和4（兵庫県）→令和5（和歌山県）

和歌山県開催時の協力要請を伝えた。

○勉強会について

- ・パスマーケットシステムによる参加費徴収

2022年度導入は中止 次年度以降も無料開催の方向でお願いしていることを伝えた。

田中会長より新年度勉強会参加費無料について補足

→新型コロナに伴う、その他の事業開催ができていないこと、繰越金の増加、会員への還元も踏まえ新年度勉強会参加費の無料の判断を行った。

神藤副会長より質問

・和臨技日当の支払い条件変更に伴い、日帰り（2時間以上）1,500円
日帰り（4時間以上）3,000円へ変更の予定であるが、学部に関しては、
1勉強会につき担当者2名までの条件がある。

こちらについては、各班長、班員への説明は済んでいますか？

→ 既に対象2名である旨説明済み。

・会費無料について、非会員も無料であれば会員のメリットがないのでは
とのやり取りがあるが何か意見等はあったか？

→会員にはHPやメーリングリストでお知らせしている。非会員にはそう
いった案内をしていない程度の差である。日臨技会員は会員の扱いであり
特に問題はないと考える。昨年の実績でも非会員の参加はなし。
現地開催でどのように対応するかは具体的に決定していない。

田中会長より Web 講習会等の録画に関して追加説明をお願いしますとの
指示あり。

→勉強会を見逃した場合の対応として、講演の録画について検討を始めて
いる。承諾書の必要性や画像・スライドの内容に著作権が発生しないか等
の問題もあり、文書の作成・運用についても検討中。

5. 経理部報告

丸澤経理部長より報告

令和3年度決算書作成中、最終確認の上監事へ提出の予定。

6. 各種委員会報告

① 公益事業活動

田原副会長より報告

・今年度の公益事業活動はなかったため報告事項はなし。

臨地実習指導者講習会について葛原理事より報告

●今後の開催予定

5月8日（日） 関甲信支部

6月5日（日） 九州支部

6月13日（日） 中四国支部

9月4日（日） 中部圏支部

原則どの支部開催へも参加可能（すべて Web 開催）

近畿支部開催については、役員改編期のため総会以降に計画の予定

北日本支部・首都圏支部は未定

●臨地実習受入れ施設への案内方法について

・日臨教（養成校）を通じて、各施設に受講を促していただくように案内
・各都道府県技師会にも 1 施設 1 名縛りが現在あることを踏まえて周知
依頼中

●座学修了者のワークショップ受講までの流れ

・Web 講習会受講申請→所属施設上長承認による受講証明書アップロード（1 施設 1 名）

→Web 講習会受講・修了→ワークショップ申込申請、受講。

※ワークショップの受講に関しては、今年もいずれの支部での受講も可能。

●今後の開催予定 令和 4 年度は 14 回～15 回

再来年度は、7 回程度の開催を予定（令和 5 年度まで開催）

今後の開催案内については、葛原理事からもメーリングリスト等を用いて案内配信の予定。

田中会長より質問

支部をまたいでの参加形式については急な決定でしょうか？

→特に経緯については不明であるが、第 1 回の開催から各支部から集まっており、当初から支部単位での制限がなかった印象である。

神藤副会長より質問

開催形式は Web 開催ですか？現地開催はありますか？

→すべて Web 開催でワークショップも Web 開催です。

令和 4 年度は 14 回～15 回開催とのことですが、1 支部単位年約 2 回開催で令和 5 年度は 1 回開催でよろしいでしょうか？

→はい

1 施設 1 名縛りのルールは令和 5 年まで継続でしょうか？

施設内で複数名受講できる予定は決まっていますでしょうか？

（ワークショップは 60 名制限・受講目標は全国で 1200 人）

→現状決定していること以外の情報はございません。進捗が届きしだい報告します。

秋田理事より

受講料は当初 3,000 円であったと記憶しているが、Web 開催になっても変更はございませんか？

→1 施設 1 名は日本臨床検査学教育協議会（日臨教）の費用負担あり。
2 名からは実費負担 3,000 円。

② 定款・渉外

神藤副会長より報告

- ・和臨技日当の支払い条件変更
日帰り（2 時間以上）1,500 円
日帰り（4 時間以上）3,000 円

以上について旅費規定変更を提案。審議事項にて最終審議。

③ 災害対策委員会

大前理事より報告

●災害対策マニュアルの改訂について（別紙参照）

マニュアル内以下 2 点の内容について確認

P.38 コンタクトリストの記載の内容について

どこまでの情報を記載するか。分散して理事施設を記載してみてもどうか。

秋田理事より、日臨技と近畿支部は記載することになっていますか？

→受援・支援の関係性で記載する必要があります。

→和臨技内については別途災害連絡網が作成され、実際活用されているので記載なしで決定。

P.39 費用支弁について

支援に関しては、日臨技等からの派遣要請があつての支援が中心となり
そうなると日臨技からの費用支弁となるため、和臨技からの費用支弁の
記載は特に必要ないと考える

→記載なしで決定。

●令和 3 年度和歌山県災害医療対策会議参加報告（3 月 30 日）

- ・県内での災害拠点精神科病院の選定
和歌山県こころの医療センターが拠点病院として指定

・広域災害医療情報システム（EMIS）について

県内の病院の被災状況を把握するシステムあるが、基本情報の入力 が 83 施設中 12 施設未入力（入力率 73%）であることが報告あり。

その他、透析施設 17 施設中、9 施設未入力（入力施設 47%）

分娩取り扱い施設 8 施設中、2 施設未入力（入力 75%）

実際の発災時の対応に遅れがでる恐れもある為、各ご施設でも入力の確認をお願いしたい。

・令和 4 年度大規模地震時医療活動訓練について

内閣府主催の全国訓練として令和 4 年 10 月 1 日（土）開催の予定

和臨技も医療調整本部の一員として参加の予定であり、理事の皆様も協力をお願いします。

竹中監事より

→今回、和臨技として初めての参加となるため、和歌山県ならびに病院協会会長と緊密に情報交換をお願いします。

田中会長より

→災害対策委員にも全国訓練に関する資料共有をお願いします。

④ 精度管理委員会

中尾理事より、精度管理調査に関する進捗報告（詳細は別紙参照）

●精度管理報告会について

開催日時：令和4年2月26日（土）13:00～16:00

参加者：85名

司会：中尾 光孝、平康 雄大

演者者：10名（平康 雄大、小笠原 志朗、前原 純、水谷 陽介、川野 友彰、南方 博至、中松 純一、湯川 有加、奥村 寿崇、中尾 光孝）

・今年度精度管理に関するフォローアップセミナーは各班勉強会として開催の予定。

微生物 4/23(土)、血液 4/27(水)、生理機能 4/28(木)に開催決定済。

他研究班については開催準備中。

●令和4年度事業について

令和4年度についても、令和3年度同様 JAMTQC システムを利用し、同様のスケジュールで実施する。施設別報告書は、10月半ばに前倒して公開する。現在、日臨技に JAMTQC システム利用申請中であり、日臨技からの承認待ちである。

秋田理事より、今年度の精度管理で輸血分野の評価・試料作製に不具合があったようですが、今後の対策などは予定されていますか？

→その点について、日臨技精度管理の評価基準を参考に見直しを行っているが試料作製方法の変更や試料の事前評価は困難であるため、凝集態度の判定についての評価は無しにし、参考値として取り扱う予定である。詳細決定しだいご報告いたします

⑤ 会誌編集

森井理事より報告

・会誌「和臨技第49 巻」を2022 年3 月に発刊した。

【問題点】

賛助会員のLSI メディエンスより、会費納入済であるが広告の掲載が無いとご指摘を受ける。

【原因】

広告掲載希望案内を送送する際に、賛助会員申込状況でフィルタを掛け、会費入金状況を確認していなかった。

(申込状況覧にチェックが無く入金成されていた)

【その後】

「LSI メディエンス」、「バイオメリュージャパン」の2社に広告掲載希望案内を送っていないことが判明した。

【対応】

栗林学術部長と田中会長に報告し協議の結果、田中会長から上記2社に対してお詫び状を送って頂くことになった。

【再発防止】

広告掲載希望案内を送送する際に、賛助会員申込状況と会費入金状況の両方を確認するように時期担当者に申し送る。

広告掲載漏れ発生に関する補足と今後の対策について、久保事務局より説明

→今回の事案発生に関しては、事務局作成の賛助会員ファイルの申込確認、入金確認のデータソートによるズレが原因であります。今後の対策として賛助会員ファイル提供の際の情報整理を徹底させていただきます。

また従来の申込方法であるFAXを廃止し、googleフォームにて直接CSVデータを作成し、転記など手入力作業をできるだけなくし、申込確認・入金確認についてもより緊密に経理部と情報共有した上で再発防止に努めさせていただきます。

対象メーカーへ今後の対応

→会誌への広告掲載漏れについて、月間行事予定表への掲載を代替案と検討しているがこの対応でよろしいでしょうか。

大石監事より

→方向性はこちらで決めなければいけないが、メーカー側としてこの対応で良いかを確認の上対処する必要があると考えるが。

田中会長

→おっしゃるとおりで、メーカー側がこの対応で了承頂けるかの確認をした上での対処と考えております。

神藤副会長

→月間行事予定表への掲載期間についても、メーカーと相談の上決定す

る方向である。

竹中監事

→総会議案書への掲載を検討してみてもうでしょうか。

田中会長

→発行物として当初考えてみましたがやはり議案書への掲載は少し違うと考えております。もう一案としては広告のみを別刷り作成して総会議案書と共に発送する案も考えております。

最終田中会長より、2社担当者へ対応策の相談を行い対処することで了承を得られた。

⑥ ホームページ

特記事項なし

⑦ 会報

谷本理事より報告

会報発行について現状動けておりません。

田中会長より

コロナにより行事開催できていない状況、個人情報取り扱いの問題など課題が多い現状ですが、総会まで2か月あるので何とか発行できないか検討下さい。

秋田理事より

先日の和学会での写真や報告、昨年の検体採取講習会の模様などについては素材があるので対応可能です。

⑧ 月例行事予定表

藺田理事より報告

会誌の発送について、会員 398 人 賛助会員 43 施設へ 3/23 に完了しております。

7. 連盟

脇村連盟支部長より報告

<全国の動き>

2022.1.22 宮島よしふみ政経セミナー（和歌山県 2 口参加）

2022.3.14 予算委委員会質問 中継
臨床検査技師によるワクチン接種打ち手の法制化
臨床検査技師の実人員把握のための法令改正

2022.3.31 近畿ブロック会議 Zoom 開催

2022.4.1 宮島議員を応援する会 → 急遽延期

2022.4.4 連盟執行委員会急遽開催の予定

2022.7 参議院議員選挙
連盟役員改選

<和歌山県支部の取り組み>

2022.3.10 20:00 - 20:40 Zoom 会議 菌田 平松 八嶋 脇村

2022.03.02 18:30-21:00 連盟執行委員会の報告

3年度 連盟会員数

和歌山県 秋口 12名増えて 60人 60口 (R2年 79人 81口) 減少
全国 2590口 2334名 (R2年 2272口) 微増

4年度活動方針の確認

目標 20000口の会員と 2000人の自民党入党 など 組織強化

7月の参議院選挙に向けて 選挙対策本部の設置

Zoomで活動できるように、全支部にアカウント配布済み

15万票が当選ライン

後援会はあえて作らず、日臨技が母体になって会員とその周辺票を確保する

必ず当選するには、検査技師にかかっている 誰も助けてはくれない
国会議員がいなくなれば、10年前に逆戻りの危機感

和歌山学会 2022.2.27 (日) 宮島喜文メッセージ 臨床検査を取り巻く情勢報告 15分

聞けなかった会員向け DVD 作成し、3/23 発送完了

施設内での、回覧して頂きできるだけ多くの会員に聞いてもらいたい

田中会長より補足

○予算委委員会質問

・臨床検査技師によるワクチン接種打ち手の法制化
→大臣より「検討します」との前向きな返答を得た。

・臨床検査技師の実人員把握のための法令改正
→他の職種のこともある為、検討課題としますとの返答を得た。

○延期された宮島議員を応援する会については、本日日臨技よりメールにて4/6開催の連絡あり。

○自民党内でも 70 歳以上の議員は定年を迎えるため立候補するべきでないとの動きもあり自民党からの応援も厳しい状況、日衛協からの協力も厳しいと聞いている。選挙としてはかなり厳しい状況であり、日臨技会員の全面的な協力が不可欠である。

そのため、和臨技会員への積極的な働きかけが必要なため、Zoom 等を活用した連盟からのアナウンスをお願いします。

神藤副会長より質問

配布した DVD については、選挙活動中に視聴することは活動違反などにあたるとはありますか。

→現状は活動違反に抵触しないと考えます。選挙活動違反になる事項や期間については改めて指示がある予定ですのでそれまでお待ちください。

令和 4 年度の連盟加入目標は全国で 2 万口ですが、これは 7 月の選挙までに必要ですか。

→そのとおりです。

秋田理事より、補足です。

先日の和歌山学会で宮島会長からのビデオメッセージを放映した際、学会特別講師の医師・看護師も同時に視聴して頂き、非常に評価が高かった。そのため、今後機会があれば技師だけでなく、多職種にも視聴してもらえらる機会を検討してみてもとを考えます。

8. 第 41 回和歌山県医学検査学会

秋田学会長より報告（詳細別紙報告書、決算書参照）

会場：完全 Web によるオンライン開催（基地：橋本市民病院 2 階講堂）

会期：令和 4 年 2 月 27 日（日）10:00～16:00

・第 41 回和歌山県医学検査学会

（テーマ）with and after 「COVID-19」

～われわれ臨床検査技師のミッション～

特別講演

「コロナ禍を乗り切るための臨床検査技師へのリクエスト」

をテーマとして、臨床現場の立場から 1 題、感染管理室の立場から 1 題
一般演題 10 題 企業プレゼンテーション 4 社

・第 41 回和歌山県医学検査学会 参加者 169 名

（会員 135 名、非会員 2 名、賛助会員 14 名）＋ 実務委員：18 名

完全 Web 開催により当日の会場費が必要なかったこと、抄録集印刷費を低コストに抑えることができた。

9. 第 62 回近畿支部学会

田中会長より報告

会場の選定に関して、和歌山県立医科大学薬学部と和歌山城ホールを使用した案を模索していたが、和歌山城ホールの予約が2年先まで確定していること、薬学部使用も開催1年前での申請が必要であること、薬学部は飲食が不可であることを考慮して、当初予定していた和歌山県民文化会館とアバローム紀ノ国で会場決定といたします。

特別講演もしくは教育講演の開催も見込み和歌山県民文化会館大ホールも含め予約済み。

10. その他

学術部より

先ほどの学術部報告で質問頂いた、会員と非会員の差について回答いたします。勉強会のお知らせ内、参加費のところに「日臨技会員は無料、（非会員の方は参加できません）」と記載しております。改めて、各班へ周知の上、案内を徹底いたします。

事務局より

今後の賛助会員募集に加え、新入オリエンテーション申込・会員登録変更調査・施設長責任者会議の案内などにも Google フォームを活用できればと考えておりますがいかがでしょうか。

→秋田理事より

以前もネット環境の問題で FAX を残さざるを得ない話がありましたが大丈夫でしょうか？

→中尾理事より

既に和臨技精度管理の募集等々においても FAX を廃止して、大きな問題なく運用できているので問題ないかと思われまます。

→神藤副会長

すべての会員に対しての対応になるので、細やかな案内を心掛けて下さい。

審議事項

●旅費規程変更について

- ・和臨技日当の支払い条件変更に伴う規定細則の変更
 - 日帰り（2時間以上）1,500円
 - 日帰り（4時間以上）3,000円

学術部に関しては、一勉強会につき担当者二名までの条件があるため細則内にも「学術部については、運営マニュアルに準ずる」の文言を追記することで一致。
規定変更については、満場一致で承認を頂く。

●令和4年度議案書検討

・事務局より修正箇所を報告

・秋田理事より

→P.6 和歌山学会サブテーマ追加

P.6 和歌山県病院協会学術大会 発表者、座長名の確認

P.7 和歌山学会 一般演題 題数 14 演題 → 10 演題

P.7 和歌山学会発表者氏名 上田さんの氏名の間に誤字

P.9 災害被災状況調査 3) 紀伊水道の地震について

・竹中監事より

→今回の総会 13 時開催と記載されていますが決定でしょうか。

久保事務局より

総会当日は理事会も開催の予定ですので 15 時開催で調整いたします。会場については、近畿支部学会の下見も兼ねて県民文化会館会議室を検討しております。

中尾理事より

→和臨技組織図内に Web 研修検討委員会の記載が残っているので削除願います。

森井理事より

→令和3年度役員名簿 森井理事の所属 紀北分院へ変更

山中理事より

→P.16 令和4年度予算案 3番目の記念事業積立金 50,000円がマイナス表記になっている

●議案書への永年勤続表彰者名および70周年事業の割愛について

・日臨技が個人情報保護の観点から本年度より永年職務精励賞表彰者名簿作成中止が決定されたことを受けて、和臨技総会議案書内の表彰氏名記載についても見直し、受賞人数のみを掲載することで一致。

・70周年事業の昨年からの延期について

田中会長より

→近畿各府県でも新型コロナ流行の影響により、軒並み延期ではなく中止となっている。和歌山県は延期で秋に開催を考えていたが、中々見通しもたたない状況で再延期の可能性もあることから、今回は中止判断として70周年記念として会員への記念品配布で対応してみてもどうかとの意見もでてきている。一先ず、議案書内の70周年事業に関する掲載は割愛することで一致。記念品等の対応策については引き続き次回理事会等で審議。

●会誌和臨技への一部賛助会員広告掲載漏れへの対応について

・会誌報告の項にて審議対応済み

●次年度理事役割割担当について

田中会長より

	→新役員も含め役割分担について会長より指示あり。 (別紙参照)				
記録作成	令和4年4月21日	氏名	久保 光史	提出	令和4年4月21日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可